

## 教祖のセクハラについて

by ハイジ(2004年2月)

教祖の悪行は繰り返され性被害者は増え続けているにもかかわらず、一般信者にはその実態が今も伝わらない「摂理」という組織のメカニズムについて、私の体験を通し少しでも分かってもらえたらと思い書きます。

私は、自分の脱会理由の欄に、「自分がマインドコントロールにかかっていた」と、書いています。脱会した方々と接していると、10人中7人は「自分はマインドコントロールにはかかっていたとは思わない」と、おっしゃっています。私は、マインドコントロールについて詳しいわけでは決してありません。幾冊かの本を読んだことがあるくらいです。ですから、その方が本当にマインドコントロールにかかっていたのか、実はかかっていたのか、、などということは私には分かりませんし、また、追求して答えを出そうとも思っていません。摂理での自分に対しても人それぞれの見かたがあって当然ですから。

ただ、私自身に関しては「マインドコントロールにかかっていた」と判断しています。「摂理」にいた頃の私は、かなりの教祖信仰でした。教祖を再臨のメシアとして100%信じていたのです。(多くの脱会者の方と、まずここが違います。)もしかしたら間違っているかもしれない、他の世界も見てみよう、などという事は全く思いもせませんでした。疑うよりもまず、メシアのこともっと知りたい、その方からイエス様の心情をもっと伝えてもらいたい、神様を喜ばせたい、と、毎日そのように考えながら生活していました。

そんな状態の生活により、私は普通に考えて「おかしい」と判断するようなことでも、「神様、メシアの為なら」という大義名分の下、何でも「御心」だと判断するようになっていったのです。その最たるものが、教祖との性行為でした。

教祖から初めて「行為」を受けた私は、もちろん混乱し日本のトップのリーダーである女性に報告しました。「先生とSEXをしたんです。」と。(注:今では私は教祖に「犯された」と解釈しておりますが、当時私が口にした言葉は上に記してあるとおりですので、それを忠実に記載しておきます。)そして相談にのってほしいとお願いしました。

しかし、不思議なほど彼女は話をはぐらかし、結局相談にはのってもらえませんでした。その数日後、別の女性リーダーが「お話をしよう。」とおっしゃってきました。パスタのお店に入り、ランチをしながら話をしたのを覚えています。

以下はその内容です。

「イエス様は自分を愛し、一生を自分に捧げる恋人を探していらっしゃる。イエス様を恋人とし、他の誰とも付き合う事もせず、愛する事もせず、結婚もしないでただイエス様だけに一片丹心の愛を捧げる人を。で、ずーっとあなたの想いと行動を見ていたあなたをイエス様は選んで下さったのです。その最高の愛情表現として先生がして下さった事に絶対つまずいてはいけません。天の愛は隠密な愛だ。最高の祝福を得た事にまず感謝しなければいけません。最高の祝福を得たからこそ、あなたが先生を裏切った時には地獄へ落ちる。そして、イエス様は恋人達の愛の基準によってその国を判断される。多くの人がキリストを愛するが、その中でも特に強く愛する人達がどれだけいるかで、イエス様の心がどちらへ向くかが決まる。だから、日本にも私達のような存在がもっと増える事が天の御心。でも、このことはこの深い真理を知らない人が聞いたらずまずくので、絶対に他の人に話してはいけません。教会のリーダーにさえも話してはいけません。先生を守る為に「知恵」を持ちなさい。」と。。

以上です。(注:もちろん言葉尻は多少異なっておりますが、ご了承下さい。)

つまり、、以上の内容からいくと、先生のメシアとしての使命は、究極的にいえばイエス様の恋人をたくさんつくることなのです。(表向きには絶対言いませんが。)

これは墮落論に反しますが、当時の私はその矛盾に全く疑問を抱きませんでした。私はこの話をそのまま信じ込んだのです。多くの方がここで、「何故!？」と思うかもしれませんが、実際、多くの方(特に男性)に私のこの心理状態が理解出来ないと言われました。先輩のお話も、今、聞けば笑ってしまいます。何とおかしな教えなのだ、と。しかし、この矛盾に疑問を抱かないという状態こそが、マインドコントロールによる「思考停止」という状態だったのです。

御言葉で、「人間的に考えると理解できない事でも、神様には深い御心があるから信じなさい。」と、いつもいつも教えられていました。そのため、「これにはとても大きな「御心」があるんだ。。。」「何でもそれで片付けてしまえる思考回路になっていたのです。ですから、当時の私は先生との性行為までも祝福と100%信じています。

私は先生を再臨のメシアだと100%信じていたからこそ、そういう思考回路になっていたのでしょう。先生とそういう経験をして「これはおかしい!」と思ったのがアッコ氏。しかし、私は同じ経験をして「すばらしい祝福を受けた」と、無理やり解釈してきたのです。

アッコ氏が摂理を出られた時、あるリーダーはこう言いました。「先生のそういう行為に対して、彼女はつまずいてしまったんだ。」と。それを聞いた私は、「何が起ころてもつまずいてはいけない。」という思いをさらに強くしました。(結局は「つまずきました。。。。)

そしてもう一つ。「メシアを守る為」という大義名分の下で、自分がついてきた嘘について。摂理を出た今、このことが一番私の中で苦しく重く押し掛かっています。

私がまだ摂理にいた時、ある男性のメンバーが教祖の行為を怪しく思い、面談室で何が行われているのだ、と私を問い詰めてきたたことがありました。もちろんその頃には、私は教祖からの「行為」を受けていました。しかし、完全にマインドコントロール下にあった私は、「メシアを守らなくてはいけない」という屈折した正義感に燃え、「そんなことがあるはずがない。」と、ハッキリ否定したのです。何度も確かめる彼に、「メシアを守る為。」だからこそ何の悪気もなく、私は「何も知らない。」「そんな事するはずがない。」と言い続けられたのです。しかも表情も雰囲気も全く変えることもなく、「メシアを守る為。。。その為には仲間に嘘をつくことも平気のできたのです。神様の御心の為には嘘をつく事も許される、と教えられてきた私には、隠す事が最高の「知恵」だったのです。彼は、自分の人生をかけた道がこれでいいのかと真剣に求めていたのです。その彼に対し、私があのときホントの事を話していれば彼はきっと摂理を出ていたことでしょう。しかし、今現在も彼は摂理に残っています。

当時の私は、自分のことを自分の意志をしっかり持った人間だと思っていました。しかし、今振り返ってみると、自分で善悪さえも判断できなくなってしまっていたのであり、これが、完全にマインドコントロールにかかっている状態だったのです。自分で怪しいと気付ける人は、脱会できる可能性も少しあります。しかし、私のようなタイプの方は、マインドコントロールにかかっていると気付けないと今の思考回路を変える事は不可能に等しいのです。そしてそのような方々が今も摂理に多く残っているのが現実です。

教祖からの被害を受けつつも、それを「祝福」だと捻じ曲げた解釈をし、何も知らないメンバーに嘘をつき続けるという危険な状態を、早く引き止めたいと切望しています。

長くなりました。きちんと読んで下さった方、どうもありがとうございます。  
何かありましたら「ハイジ」のメールに連絡して下さい。